

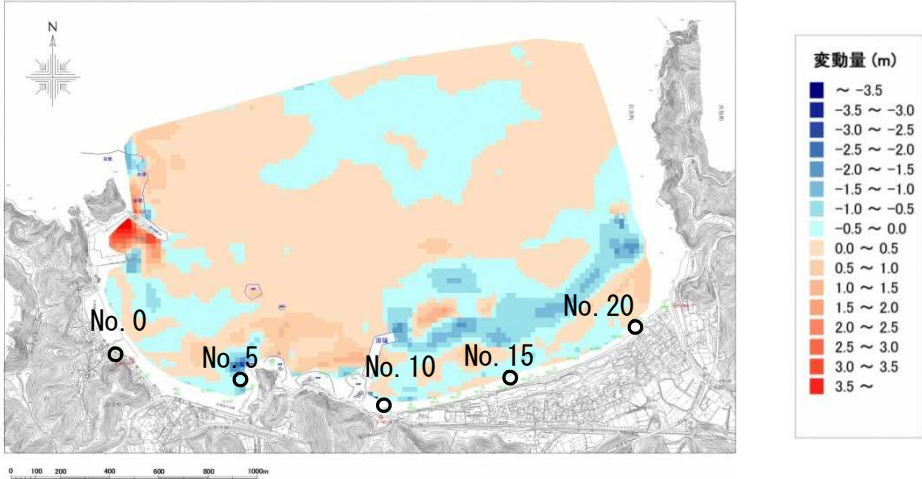
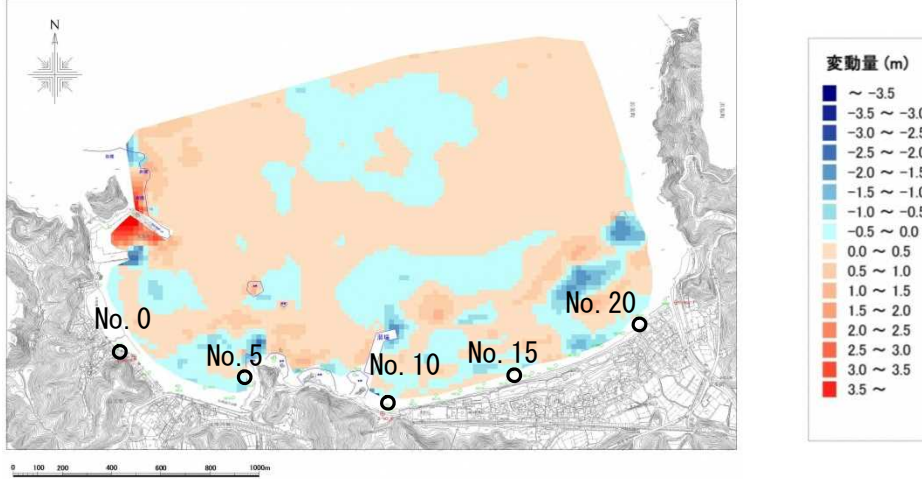
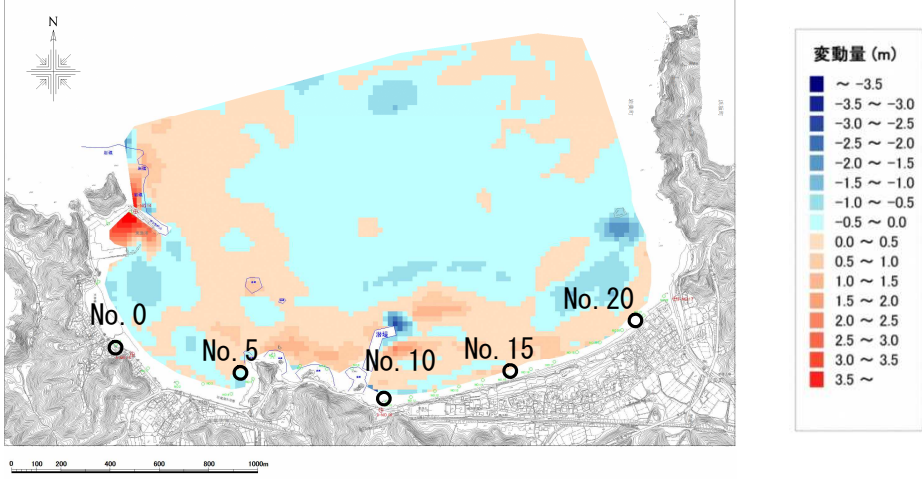
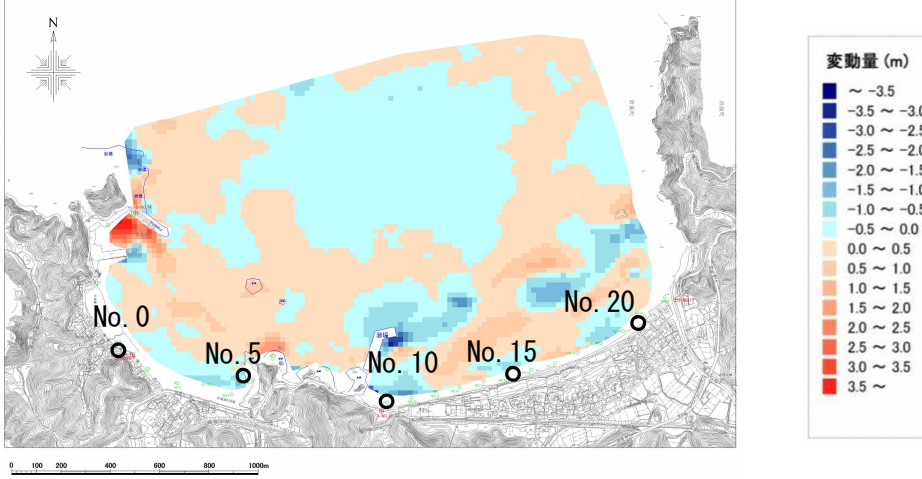
長期的分析（夏季後）	長期的分析（冬季後）
平成 18 年 9 月から平成 27 年 9 月(9 年間)	平成 18 年 9 月から平成 28 年 2 月(9.5 年間)
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• No.5～No.10 の岩礁帯、及び潜り突堤の東部での顕著な堆積が解消した。</li> <li>• 東漁港の港口部の堆積傾向が見られる。</li> <li>• 潜り突堤周辺の侵食が緩和された。一方、東側海浜の汀線部の堆積傾向は解消した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• No.5～No.10 の岩礁帯、及び潜り突堤の東部での顕著な堆積が解消した。</li> <li>• 東漁港の港口部の堆積傾向が見られる。</li> <li>• 東側海浜の岸に近い場所は、侵食の範囲は減少したが最大 3m 程度の侵食域は東寄りに残った。</li> </ul>
平成 18 年 9 月から平成 28 年 9 月(10 年間)	平成 18 年 9 月から平成 29 年 3 月(10.5 年間)
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• No.5～No.10 の岩礁帯、及び潜り突堤の東部での顕著な堆積が解消した。</li> <li>• 東漁港の港口部の堆積傾向が見られる。</li> <li>• 潜り突堤周辺の侵食が緩和された。一方、東側海浜の汀線部が再び堆積傾向となった。</li> <li>• No.10 の最沖部で部分的に低下しているが、10m 以深部の土砂採取の影響が考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 潜り突堤の東側で侵食となった。</li> <li>• 東漁港の港口部の堆積傾向が見られる。</li> <li>• 東側海浜の岸から 300m 程度の場所は、最大 2m 程度の侵食に緩和された。</li> <li>• 10m 以深部の土砂採取を行っていない期間のため、最沖部の部分的な低下が緩和された。</li> </ul>

図 2.3.9 標高差分図（平成 18 年 9 月を基準とした長期的分析）

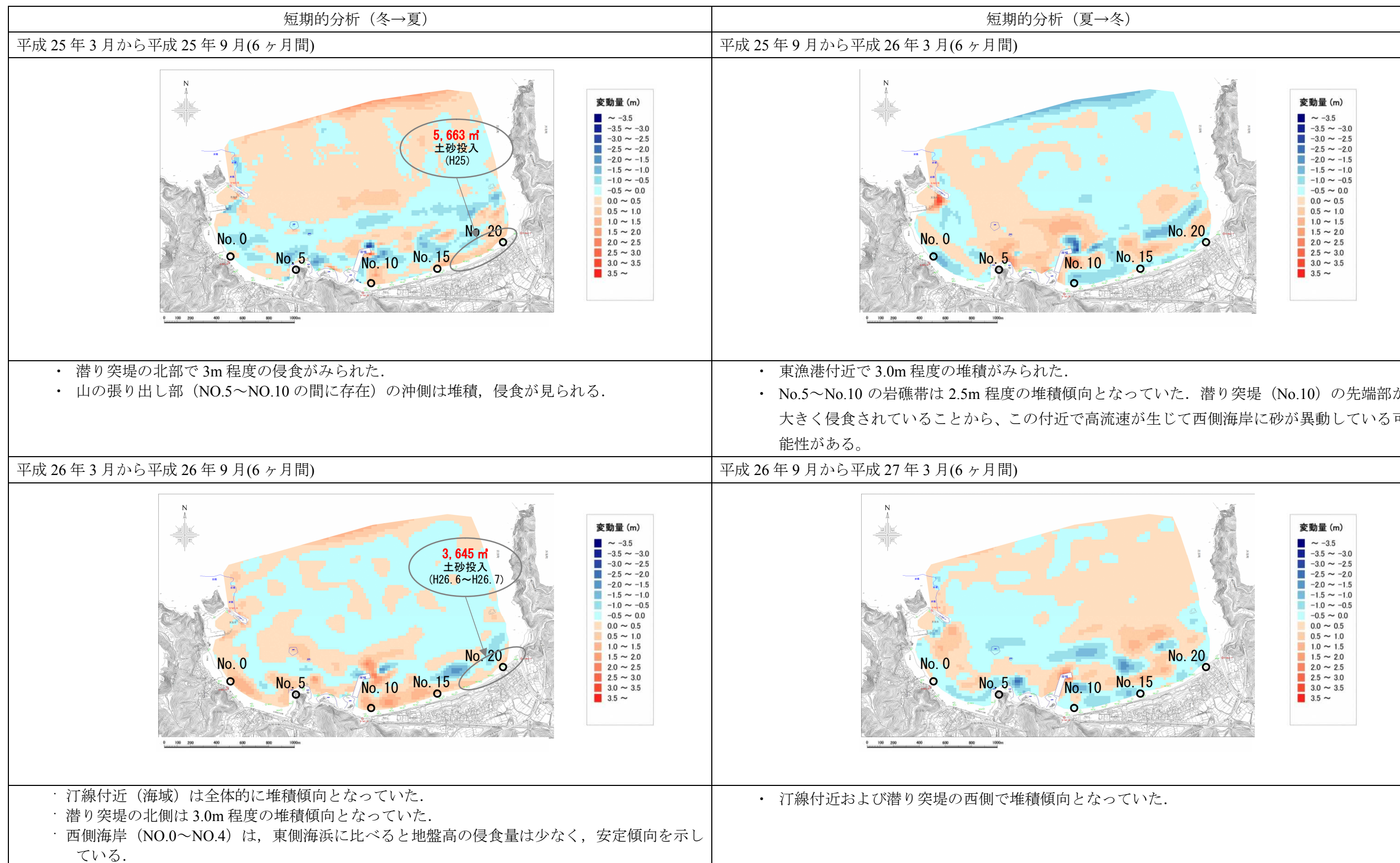


図 2.3.10 標高差分図（短期的分析）